事業番号	15　04　07

事業改善シート（27年度実施事業分）

□予算要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事業名	特別支援学校センター的機能充実事業費	担当課	部局	教育委員会事務局
			課・室	特別支援教育課
総合5か年計画	プロジェクト		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援	実施期間	H25　～

1 事業の概要

目指す姿	・特別支援学校に理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)等の外部専門家を活用し、障がいの重複化・多様化に対応したより高度な自立活動の専門性の強化を目指す。 ・自立活動担当教員が地域の小中学校の特別支援学級を巡回し、相談支援を行うことによって、特別支援学級に在籍する児童生徒の障がい特性や教育的ニーズに応じた支援ができるように、地域の小中学校における特別支援教育の専門性向上を図る。
現状（予算編成時）	・センター的機能に係る相談件数の状況：幼保小中高等学校からの相談件数が依然多い状態が続いている。 ・小中学校特別支援学級の学級数、在籍者数の増加により、未経験者が特別支援学級担任になることが多いことから、専門性の確保が難しい状況となってきている。
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施：実施は困難 【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法74条、特別支援学校学習指導要領 特別支援教育就学奨励費補助金(特別支援教育体制整備の推進分)

成果目標・事業内容

① 成果目標(H27)

外部専門家派遣を46回(1校あたり2～3回程度)実施。

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H27事業実績	H27（当初）	H27（決算）	H28（当初）
自立活動巡回支援事業	直接				1,013
特別支援学校 外部専門家派遣事業	直接	・外部専門家を各特別支援学校18校に派遣し、地域の小中学校からのニーズに対応できるように専門性の充実を図った。 {対象となる外部専門家：理学療法士(PT)作業療法士(OT)言語聴覚士(ST)等}	1,093	1,065	1,517
		合計	1,093	1,065	2,530

事業コスト

区分（単位：千円）		25年度	26年度	27年度	28年度
予算額	前年度繰越				
	当初予算	792	1,096	1,093	2,530
	補正予算				
	合計(A)	792	1,096	1,093	2,530
Aの財源	一般財源	529	731	729	2,025
	県債				
	国庫支出金	263	365	364	505
	その他	0	0	0	0
決算額(B)		621	924	1,065	
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,655	1,655
概算事業費(B(A)+C)		2,273	2,748	2,720	1,655

成果目標の達成状況

項目	H26末（実績）	H27 目標	H27 成果	H27 達成状況	H28 目標
外部専門家派遣回数	40回	46回	46回	達成	60回
巡回支援の対象教室	―	―	―	―	390学級

目標に対する成果の状況	地域の小中学校からの特別な教育的ニーズに対応できるように、外部専門家を特別支援学校に46回派遣することができた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	□ 事業を実施しない　□ 事業を見直して実施　■ 事業を現行どおり実施 ・外部専門家派遣事業については、地域の実情や障がいの重複化・多様化に対応するために派遣する回数を増やす。 ・小中学校に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、必要な指導・支援が行われるように特別支援学校のセンター的機能を発揮して、地域の小中学校の特別支援学級にする巡回相談支援を行う。